

「紅花の守人いのちを染める」映画上映会（山形市）

5月13日（土）に、山形市の「たかせ元気会」という地域団体が主催した映画上映会において、キッチンカーの出店やワークショップ等、様々な企画が催されました。

このイベントが行われた高瀬地区では、2012年から世代間交流をねらいとして、紅花にまつわる映画の上映会を開催してきました。ここ数年、コロナ禍で中止としていましたが、昨年度は、何かできることはないかと考え、ワークショップを実行しました。そして、今年度は、待ちに待った映画上映会を復活させるとともに、ワークショップも併せて開催することになりました。

その会場では、中高生、学生ボランティアの皆さんが活躍していました。その様子を紹介します。

ワークショップ 「手のひらで紅花を描こう」

講師：さかい かな 氏（高瀬地区出身）



手のひらに絵の具を乗せて、紅花を描いていく活動でした。赤から黄と順番に描く間に混ざり合い、きれいな橙色となります。思い思いに描いた紅花は、個性あふれる作品となりました。

地元の中高生、学生が ボランティアとして大活躍！



小学生を対象にしたワークショップでは、地元の中高生が各グループのリーダーとなり、紅花の描き方などを参加者に丁寧に説明をしました。ワークショップの間、絵の具の準備や補充、手を拭くためのウェットティッシュの準備など、参加した小学生に目を配りながら行動している姿が印象的でした。

映画上映会でも活躍！ 「私たちの高瀬へようこそ！」



来場した方の検温や手指消毒、チケットの受け渡しなど、笑顔で取り組んでいました。出迎えを受けた私たちも、和やかな気持ちになりました。



地域学校協働活動としてのボランティアの可能性

この上映会は、世代間交流をねらいとして開催されています。そのために、「たかせ元気会」は、地域の子供たちが参加するだけでなく、運営に携わることができるよう、地域の小中学校の学校運営協議会や学校長の了解を得て、学校、地域の納得のもとで企画され、実現しました。

このイベントでは、地域団体が学校と連携して、子供が地域活動に参画する場が創り出されました。子供たちにとって、この経験は自分の地域の素晴らしき「ヒト・モノ・コト」を知るきっかけとなり、地域で活動する楽しさを知る場となったことでしょう。地域の大人と子供、そして学校とのつながりが広がり、豊かになった素敵なイベントでした。

個性豊かな紅花 咲き誇る



ワークショップで作成した作品で一画が紅花畑に！！